

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」南栗橋校			
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 1日 ~ 令和8年 1月 14日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	55名	(回答者数)	38名
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 1日 ~ 令和7年 12月 20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 14日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	教室環境が整っている 児発スペースが確保できている	空間を活かしたイベントの開催を企画	空間を最大限に活用したイベントを企画し、普段違う体験で楽しんでもらう
2	職員に保育士が多い	お子さんへの支援はもちろん、保護者への対応も安定している	保育士としての経験を存分に発揮してもらい質の高い支援を目指す
3	駅が近い	家族に送迎をしていただかなくても電車を使って来所できる	自立への促しに繋げられる

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われる	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	「学習支援が中心」というイメージが定着している	集団に馴染むスキルを伸ばすべくSSTの取り組みを充実させる	契約時やモニタリング時にSSTに力を入れて取り組むことを周知していく
2	職員が定着しないイメージを持たれている	職員の定着	職員同士の報連相強化・上長との面談で思いを発する機会を持つことを継続する
3	教員免許取得者がいない	特に中学生の支援時、内容の難しさに「教えること」の困難さを感じる	教員免許取得者の入社

## 公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」南栗橋校
------	--------------------

公表日 2026年 2月 14日

利用児童数

55名

回収数

38名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	38	0	0	0	他の生徒と区切られていて、先生と1対1で安心して過ごせる、話しやすい	今後も安全に運営することを踏まえながらスペースの確保に努めます
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	35	3	0	0	職員の配置数は適切であると思うが異動が多いと感じます	現状維持をしながら6人体制を目指してまいります
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	35	3	0	0	少し寒いのでは?と思うときがあります、換気のためには仕方ないですかね	換気のために窓を開けることもありますが室内温度には気を付けてまいります
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	37	1	0	0		今後も清潔保持をし、快適に活動できるよう配置してまいります
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	34	4	0	0		引き続き臨機応変な対応を心掛け、専門性を高めてまいります
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	38	0	0	0		今後もプログラムに合わせた支援内容を継続していきます 公表された支援プログラムを確認していただけるような発信を思案します
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）を作成されていると思いますか。	36	2	0	0	こちらからのリクエストに柔軟に対応いただいています	今後もアセスメント、モニタリングをしながら保護者の意向をしっかり聞き取ってまいります
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	36	1	0	1		今後も児童発達支援ガイドラインを踏まえた支援を継続していきます 児童発達支援ガイドラインを確認していただけるような発信を思案します
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	38	0	0	0		今後も最新の計画を確認した上で支援準備をいたします
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	34	4	0	0	イベントが楽しみと言っていました、日中限定ではなく夕方開催は有難いです	計画に合った支援内容を心がけた上でステップアップをイメージした活動をしていきます
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	4	9	9	16	・必要ないと思います ・他の場所や施設、地域の子どもの交流は他で出来、マンツーマンでの良いサービスがあるのでよいと思います	必要に応じて今後検討してまいります
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	38	0	0	0		契約時の説明に加え、質問があった場合は即日対応を心がけます
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	38	0	0	0	支援プログラム計画書のコピー（控え）をもらえたのはすごく良かったです	FB毎に児童発達支援計画を提示しているわけではないので、今後ご要望に応じて対応していきます
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	7	2	11		開催を検討していきます
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	35	2	0	0	未回答1 モニタリングの時間等相談しやすいです、下の子に気配りして頂く事もあり集中して話すことでもでき有難いです	支援での気付き、提案を続け現状に合った支援提供ができるよう共通理解を心がけてまいります
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	32	3	0	3		支援での気付き、提案を続け現状に合った支援提供ができるよう共通理解を心がけてまいります
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	36	2	0	0		支援での気付き、提案を続け現状に合った支援提供ができるよう共通理解を心がけてまいります
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	8	5	18	・インスタグラム見てます!!楽しそうですね! ・夏祭りやクリスマス等の少人数でのイベントがあり他のお子さんと少しですが交流があり良いと思います ・保護者や兄弟同士の交流はあまりないですが他で出来、個人で交流可能なので不安はないです	今後開催を検討してまいります

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	32	2	0	4		今後もできる限り日程調整のご要望には応じます その他ご相談も早急な対応を心がけてまいります
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	36	2	0	0	よくLINEなどで情報共有ができる対応も早いと思います	今後もガルーン等を使用して職員間の報連相強化していきます
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	28	4	0	6		今後も様々な楽しんでいただけるような情報発信をします 皆様に目に見ていただけるような発信も検討します
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	38	0	0	0		個人情報取り扱いを強化して皆様に安心していただけるよう努めてまいります
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	32	1	0	5		社内研修を行った後の教室掲示を検討し 皆様へ周知できるようにしていきます
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	28	4	0	6	避難訓練はされていると思いますがいつ 行っているか分からないです	防災訓練を行った後の教室掲示及びモニタリング時に防災訓練実施報告をお渡しし皆様へ周知できるようにしていきます
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	35	2	0	1		社内研修を行った後の教室掲示を検討し 皆様へ周知できるようにしていきます
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	32	0	0	6	・まだそのようなことが起きていない為分かりません ・そのような場面になったことがないので分かりません	事故が発生した場合は迅速な対応をし保護者様へご報告いたします
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	38	0	0	0	いつもいつもありがとうございます!!	支援提供はもちろん、支援時間外の対応も大切にしながら「利用してよかったです」と思っていただることを目指していきます
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	35	3	0	0	・いつもいつもありがとうございます!! ・残り時間のLINEを楽しくに勉強頑張れて、感謝しています ・受験勉強を頑張ると各自2時間利用を買って出て、それに協力して色々アドバイスしたり先生一人一人に感謝しています ・通所前後（電車利用・一人の時間）含め違うことがとても楽しい様子です ・行き来りや行く前の気分の変化などありますか箇欄応変に対応してくれます	支援提供はもちろん、支援時間外の対応も大切にしながら「利用してよかったです」と思っていただることを目指していきます
	29	事業所の支援に満足していますか。	35	3	0	0	・いつもいつもありがとうございます!! ・また楽しく過ごせるようアイディアを考えたりしていただき感謝しています	支援提供はもちろん、支援時間外の対応も大切にしながら「利用してよかったです」と思っていただることを目指していきます

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」南栗橋校	公表日	2026年2月14日	
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		個別スペース、全体で利用するスペースを設けている。利用コマ数によって窓際のスペースも上手く利用できている。児発スペースでFB中も安心して過ごせる。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		適切に配置されている。職員数によって利用制限を設けている。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		支援ブースを駅に見立てた番号配置にしており、子どもにわかりやすくなっている。支援ブースと自由スペースを分けている。トイレ入り口に段差がある。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		定期的に環境整備を行っている。児発スペースもあり子供たちの活動に合ったくらくなっている。教室が広いのでイベント開催も行いやすい。
業務改善	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて面談室を利用できるようになっている。
	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		数字を伸ばすため全員で協力し、各自どうするべきだったか振り返っている。1on1の実施で目標設定と振り返りを行っている。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		アンケート集計後MTを行い、結果の周知をしている。改善すべき点、継続すべきことを確認し、その後の業務に活かしている。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		朝礼やガルーンを利用して公休の職員にも情報がいきわたるようにしている。状況に応じて対応できている。管理者・長面談にて意見を発信できる機会を設けている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者評価が行われているかの把握ができていない。
適切な支	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		必要に応じて研修が組まれている。公休等で参加できなかった場合はアーカイブ動画で内容を習得できている。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		公表時期に確実に公表している。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		児発管もしくは指導員がアセスメント・モニタリングを行いニーズに合った計画作成をしている。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		都度、子どもの状態、支援の方向性を話し合いながらプランに盛り込んでいる。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画は回覧・周知したうえで、支援ファイルの裏表紙に貼付し、支援準備の際は常に確認することができている。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の支援記録やアセスメントシートを用いて把握に努めている。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		FBで保護者の意向確認を常に行って、保護者に寄り添った支援を心がけている。必要に応じて希望に沿った支援プログラムに変更し対応している。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		プログラムの立案計画は全員の意見が反映されているが、その日に行う支援プログラムは「その日に合った内容」にするため個々の判断に委ねている。

援の提供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		プログラムの立案計画は全員の意見が反映されているが、その日に行う支援プログラムは「その日に合った内容」にするため個々の判断に委ねている。	基本的な支援内容にブレがないことを考えた上で変化を入れています
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		基本的には個別療育が主なので、イベント開催で小集団活動を行っている。	イベントでのお子様の言動は次の支援の大きなヒントになります、今後もイベント開催しながら骨倉もと違う表情を確認させていただきます
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		朝礼で一日の流れを確認したうえで支援にあたっている。支援プログラムの内容については個々で準備するため全員で確認はしていない。	支援内容については個人に任せていますが安全に運営するうえで目配り気配りはチームで行えています
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		翌日の朝礼で振り返りを行っている。保護者からの要望や情報、報告事項はガーラン用いて共有している。	支援の振り返りと情報共有のため朝礼を行っています
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		「支援後3日以内の記録作成」に気を付けながら、100%達成できている。	翌月担当者が支援記録チェックを行い不備の修正をしています
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。	保護者の意向をくみ取り、寄り添った内容の個別支援計画作成をします
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	<input type="radio"/>		地域交流の機会の提供はされていない。他3つは提供されている。 理解不足で回答不能。	ガイドラインの読み合わせの機会を作り全員が内容把握できるよう努めます
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		支援の中デ本人の自己決定の場を大切にしている。	お子様の思いや考えにはしっかり耳を傾け受容を大切にしています
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		基本的には管理者が出席し、必要時には指導員も参加している。日頃の状況を指導員から情報収集した上で出席している。	サービス担当者会議出席後は記録を作成し情報共有をしています
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて、学校等に見学に向かい共有している。	今後更に強化していくと考えています
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	現状では行っていないが必要時には情報共有できるよう体制にある。	今後更に強化していくと考えています
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	要望があった場合対応している。 利用中の子ども全員の移行支援を行いたい。	今後更に強化していくと考えています
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	要望があった場合対応している。 利用中の子ども全員の移行支援を行いたい。	今後更に強化していくと考えています
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		地域主催の会議や研修に管理者が参加し、意見交換・連携ができるよう態勢を整えている	研修や連絡会に参加し連携を強化しています
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		<input type="radio"/>	個別対応のため行っていない。 必要性を感じない。	ご要望があれば今後検討していきます
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>		特にしていないように思う。	自立支援協議会主催の研修や連絡会には必ず参加しています、理解できていない職員があったということは教室周知不足だったかもしれません、全員周知いたしました
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		FBで課題についての理解度を伝え、今後の方向性の確認を行っている。保護者のメンタルにも気を配り小さな変化を見落とさないように心掛けている。	主にFBでのお話から共通理解を深めています、ご要望があれば早急に相談に応じています
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		掲示板にてお知らせしている。必要に応じてLINEで発信を行っている。	ペアレンツトレーニングについては今後開催を検討していくと考えています
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		契約前面談、契約時に説明を行っている。 質問を受けたときにはその場で対応している。	ご質問があれば即対応しています
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		モニタリングで保護者の意向を確認した上で計画立案している。 支援中も本人の意思や意向を確認しながら支援を行っている。	保護者の意向にも配慮し、支援にあたる職員の意見も参考にして作成しています
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		計画更新の際に確認を行い同意を得ている。	ご同意の上ご署名いただいている

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		FB時に気になった保護者へはどちらから声を掛けてお話を伺うこともある。基本的には保護者からの相談に応じる形で進めている。	相談のご要望には早急に対応しています
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		イベントできょうだい同士で交流する場を設けた。父母会、保護者会の開催は行っていない。今後の必要に応じて要検討。	事故やトラブルに繋がることを懸念すると兄弟参加型のイベント開催は困難な可能性もありますが楽しんで喜んでいただけたことも事実です、今後は開催時要検討かと思います
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		相談の要望については間を空げず、直ぐ来所いただき対応している。	今後も相談のご要望には早急に対応していきます
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		ブログ、インスタグラムで発信し活動内容の周知に努めている。	イベントや壁面制作の紹介に加え新規受け入れについても発信をしていきます
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		鍵付き書庫で保管し個人情報の扱いに十分な配慮を行っている。	保護者アンケートの回答が「どちらとも言えない」と回答されている方がいらしたのでイベント開催時等の取り扱いにも留意していきます
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		子どもに対してはわかりやすく伝えることに留意し、保護者に対しても意思や意向を確認しながらお伝えしている。	保護者の方との意思の疎通はもちろん、お子様自身の思いや考えに目を向け続けていきます
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		<input type="radio"/>	個別対応のため行っていない。	ご要望に応じて検討します
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		各マニュアルについては書庫に配置し常に確認ができるようになっている。保護者への周知はSNSで訓練実施報告等で行っているが今後頻度を上げるべきと考えている。訓練は毎月実施している。	法定研修として受講しているので、受講後の発信をすることで周知へ繋げていきたいです
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		法定研修として行われている。	法定研修として受講しているので、受講後の発信をすることで周知へ繋げていきたいです
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		契約時、面談時、モニタリング時に確認している。状況に応じ対応している。	今後も確認を継続します
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		<input type="radio"/>	保護者からアレルギーについての聞き取りをし必要な対応を心掛けている。	今後も確認を継続します
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		法定研修を受講し安全管理についての知識習得に努めたうえで支援を行っている。	法定研修として受講しているので、受講後の発信をすることで周知へ繋げていきたいです
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		緊急避難場所や経路についての説明は行っているが、安全計画についての周知はできていないため今後改善していく。	法定研修として受講しているので、受講後の発信をすることで周知へ繋げていきたいです
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		ヒヤリハット事案は報告書を作成し、教室内で共有した後、ガルーンにてB内報告を行っている。	法定研修として受講しているので、受講後の発信をすることで周知へ繋げていきたいです
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		法定研修に参加し知識習得に努めた上で支援にあたっている。	法定研修として受講しているので、受講後の発信をすることで周知へ繋げていきたいです
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		法定研修に参加し知識の習得に努めている。今後身体拘束に関する同意書を全ての利用者から頂く予定。	今後全てのご利用者様から「身体拘束に関する同意書」をいただきます